



今年度の当財団の活動方針について【交流部】

○多文化共生活動の推進に力を入れます。

特に、市町への支援に取り組みます。

- ・外国籍県民に対する市町の相談窓口との連携を強化しながら、市町担当者等への研修を通じた地域での取り組みを支援します。日本語ボランティアの育成、県内地域の交流団体との連携による多文化共生活動を推進します。



市町相談窓口担当者研修

○グローバルな視点を持つ人材の育成を図ります。

- ・グローバル社会に呼応した国際人材や平和貢献に寄与する人材を育成するための講座開催や参加体験型学習などを実施します。



グローバル人材養成講座

○外国人留学生の総合的な支援を行います。

- ・引き続き、「広島県留学生活躍支援センター」を中核として、優秀な留学生の受入促進から、留学中の勉学・生活及び県内企業への就職までを総合的に支援します。

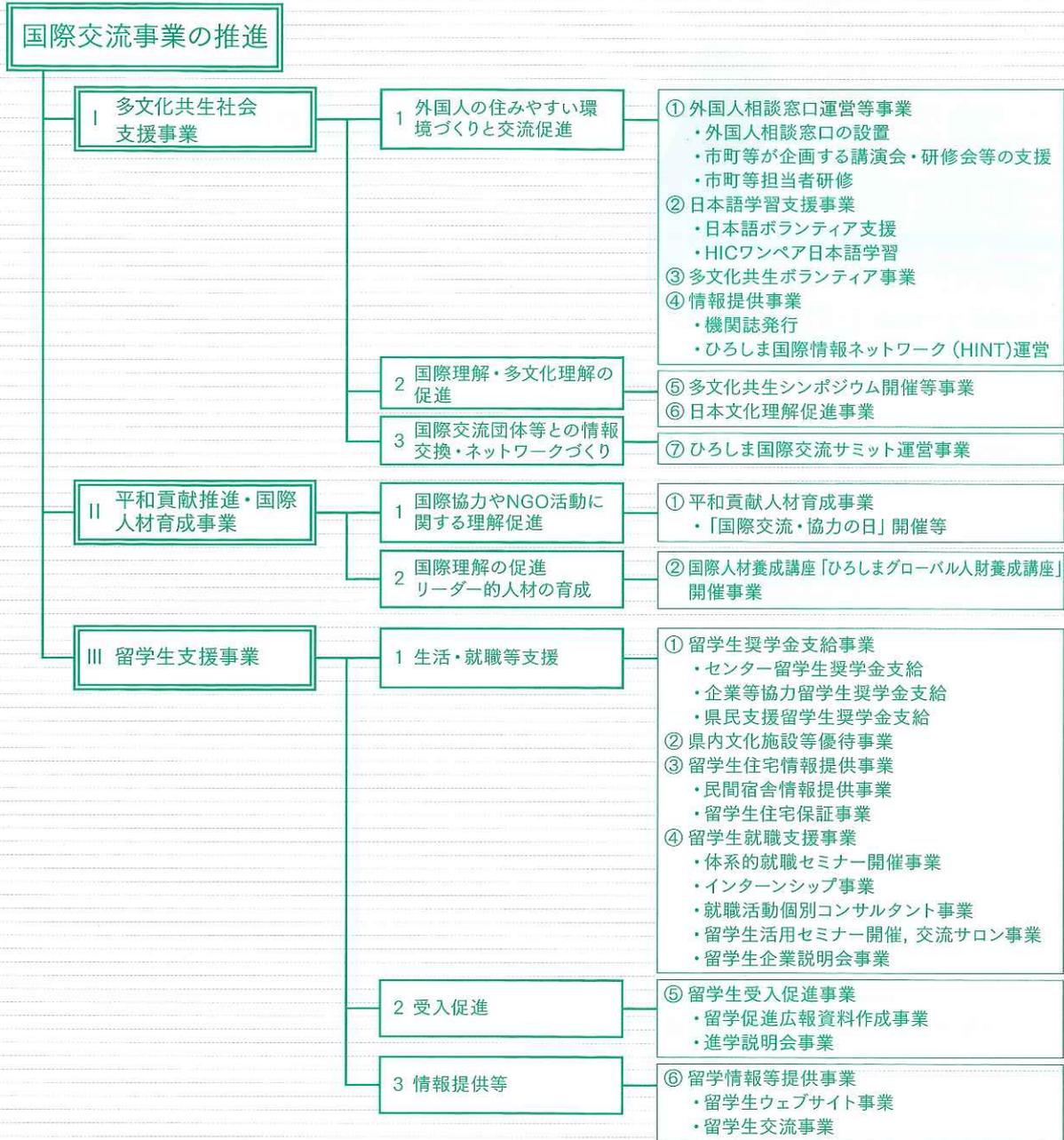


留学生合同企業説明会

◆目次

2面	交流部だより	9面	サミット加盟団体だより
6面	留学生活躍支援センター	10面	Upcoming Event News
7面	国際プラザニュース	11面	Hello Hiroshima
8面	こちら JICA デスク	12面	広島カレンダー

(公財) ひろしま国際センター平成26年度の施策体系について



ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会から寄附金の贈呈がありました



贈呈式の様子
湯崎知事(右)より贈呈を受ける永野会長(左)

広島から世界に平和のメッセージを強く発信し、平和貢献活動を持続的に支援する仕組みを構築するため、平成23年度から平成25年度に実施された国際会議や音楽イベントなどによる「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト」の実行委員会(会長:広島県知事 湯崎英彦様)から、同プロジェクトの収益金の一部(約2,700万円)について、当センターの「草の根国際協力基金」へ寄附の申出があり、3月24日(月)に贈呈式がありました。

今後、民間団体が行う国際協力活動を対象とした助成事業の原資として、有効に活用させていただくこととしております。

「平成25年度ひろしまグローバル人財養成講座」を開催しました

1月11日(土)より、平成25年度ひろしまグローバル人財養成講座を開催しました。本年度は、「国際経済」と「環境」をテーマに講義とワークショップを取り入れ、全6回行いました。

第1回 未来を創るグローバル人財へのメッセージ 「世界へ飛び出そう！」

講師に広島経済大学 国際交流室室長 教授 ジョージ・R・ハラダ先生をお迎えし、世界へ飛び出すための熱いメッセージをいただきました。また、「異文化感受性発達モデル」を用い、異文化適応能力をどのように身に付けるかを説明いただき、受講者一同、大いに刺激を受けることになりました。



第2回 Global issue (経済) 講義 「グローバル経済と環境権」

講師に広島大学 大学院総合科学研究科 准教授 李 東碩先生をお迎えし、「グローバル経済と環境権」について講義をしていただきました。グローバル化が進む中、電力業界の現状や、世界規模の政策など、盛りだくさんの内容を提供いただき、これからは自分たちで考えて行動していく事の大切さを指導していただきました。(木村)

※第3回は下記「HIROSHIMAS」ワークショップに参加

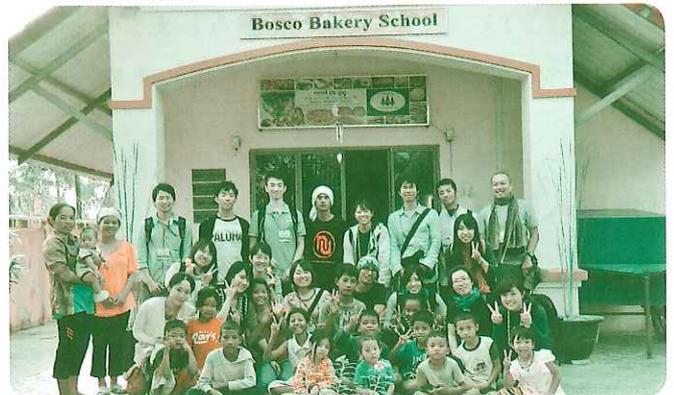
ひろしま国際サミット研究会「HIROSHIMAS」を開催しました

1月12日(日)に、NPO法人ひろしまジン大学との共催で、ワークショップ「HIROSHIMAS」を開催しました。このワークショップは、世代、性別、国籍もさまざまなお集まりいただき、「広島を外国人も住みやすい街にするために」をテーマに、参加者の皆さまで意見やアイデアを出し合うことで、多文化共生への理解を深めるとともに、皆さまから頂いたアイデアを地域で活動している国際交流団体の方々に今後の活動に活かしていただくことを目的としています。

当日は、安芸高田市の実際の現場で多文化共生の活動に取り組む実践者(明木さん)から話題提供を頂いた後、参加者によるディスカッションを実施しました。さまざまな方が意見交換を行うことで、お互いに刺激を受け合い、たくさんのアイデアが生まれていました。(河岡)



カンボジア・スタディツアー 報告



ツアー行程（概略）

2月9日(日)から16日(日)までの6泊8日の日程で「カンボジア・スタディツアー」をJICA中国国際センターと共催で実施しました。

このツアーは、県民に開発途上国や国際協力への理解を深めていただくとともに、それらを通じて国際協力・平和貢献における人材育成を目的とした平和貢献推進・人材育成事業であり、今回で通算10回目を迎えます。今年度は大学生12名、高校生1名、社会人1名の計14名での実施となりました。

ツアーの前半は、カンボジアの首都であるプノンペンを訪れ、JICAカンボジア事務所や青年海外協力隊が派遣されている「プレベン教員養成学校」や、シニア海外ボランティアが派遣されている「国立小児病院」に訪問し、JICAの活動について学ぶとともに、「カンボジアひろしまハウス」や「プノンペン経済特区にあるミネベア(株)カンボジア工場」を視察してODAやNGOをはじめ企業のCSR活動を通じて様々な国際協力・国際貢献のあり方を学びました。

ツアー後半は、カンボジアで観光の拠点都市となっているシェムリアップを訪れ、「アンコールワット」などのカンボジアの文化や歴史に触れ、カンボジアの繁栄について学ぶとともに、「トゥール・スレン収容所」や「キリングフィールド」などを視察し、内戦で失われた伝統や教育の復興の必要性など多くのことを学び、カンボジアの衰退と平和について考えました。また、現地の小学校や児童宅を訪問すると学校や教師、設備がないことや、家庭の事情で4年生まで進級できない子供たちが数多くいることを知り、改めて内戦の傷跡やその影響の深さを痛感しました。

2/9	プノンペン市内視察
2/10	カンボジアひろしまハウス視察 プノンペン経済特区視察 JICAカンボジア事務所訪問 日本地雷処理を支援する会視察 現地日本語学習者との交流会
2/11	プレイベン州教員養成校視察 プノンペン市内視察 国立小児病院視察 JICA関係者との交流会
2/12	トゥール・スレン収容所跡視察 チュム・メイ氏との対話 キリングフィールド視察 シェムリアップ市内視察
2/13	アンコールトム・タプローム視察 クメール伝統織物研究所視察 アンコールワット視察
2/14	ササースダム中核小学校視察 ササースダム児童宅訪問 アンコール大学視察 ナイトマーケット視察
2/15	トンレサップ湖視察 シハヌークイオン博物館見学 BOSCOベーカリースクール視察

今回のツアーは6泊8日という短い滞在期間でしたが、参加者にとって非常に内容の濃い時間になったと思います。カンボジアという国を通して、国際協力や国際貢献の在り方、実際に現地で活動されている日本人に触れたこと、カンボジアの繁栄の歴史や内戦の歴史についての学びや現在の経済発展とそれに伴う格差の問題など、本当に学びの多いスタディツアーとなりました。そして、何よりもカンボジア人の「もっといろいろなことを学びたい」という思いや「食べていけるだけで感謝しなければいけない」という考え方に触れたことは、私達に当たり前のように勉強できる環境があることや、毎日お腹いっぱい食べることができることを感謝しなければならないと再確認する良い機会となったと思います。

私はこのツアーの担当者として、参加者の皆さまに、このカンボジアで学んだことを今後の人生に役立て、各々の目標に向かって大きく羽ばたいてもらいたいと強く思うとともに、皆さまの無限の可能性を信じています。

最後に、このツアー実施にあたりご尽力いただいた多くの関係者の方々に心より御礼申し上げます。(河岡)

多文化共生シンポジウムを開催しました



2月15日（土）、多文化共生シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムは、広く一般県民の多文化共生に対する理解を図るとともに、多文化共生の実践に向けたヒントを得ていただくことを目的として、年に一度開催しており、今年で3回目となります。

今回は、NPO法人多言語センター理事 吉富志津代さんを講師にお招きし、「地域の子どものたちの環境から考える多文化共生」をテーマに、第一部は基調講演、第二部はワークショップを行ないました。

基調講演では、日本で育つ様々な子ども達の環境について、現状や問題点などを講師の豊富な経験の中からお話しいただき、最後には予定時間を超える活発な質疑応答がなされました。

ワークショップでは、「ブラジル人ふたりと中国人ひとりが、小学校に転校してきました。クラスにどのようなことが起こりますか?」という設問のもと、参加者全員で、起こりうる問題やプラスに作用させるにはどのようにすればよいかなどを考え、発表を行ないました。様々な視点での意見が出され、参加者からは、「普段気づかないことに気づかされた」「周囲の日本人がどのような視点を持つべきか考えさせられた」などの感想が聞かれました。（水野）



「雪生活体験」を開催しました

2月2日（日）、「雪生活体験」を美和東ふるさと振興協議会、北広島町、北広島町女性会美和東支部と共催で開催しました。多数の応募より選ばれた11カ国49名の在広外国人に参加いただき、北広島町溝口地区の方々と交流を深めました。

前日に暖かい雨が降り、コンディションが心配されましたが、地元のみなさまのご尽力により、参加者は思う存分雪遊びを楽しむことができました。また、地元料理と外国料理を囲んだ交流会や地元芸能、外国人による母国紹介も実施しました。

交流会では、外国人参加者有志の方から、生春巻き（ベトナム）、トッポoggi（韓国）、アメリカのサラダなどのお国料理をふるまっていただきました。

地元芸能では、日本舞踊、銭太鼓、神楽鑑賞などを行ない、参加者にとってはとても興味深かったようです。

開催後には、参加者から多数のお礼のメールをいただき、「十分な国際交流ができた」「地元の方の暖かさに感激した」「来年も参加したい」など、いずれのメールからも参加してよかったとの声が聞かれました。



雪あそびの様子



迫力のある神楽



交流会・お国料理の説明

こちら留学生活躍支援センターです ～県内の外国人留学生のみなさんの活躍を支援しています～

今回は当支援センターの留学生受入促進事業と留学情報等提供事業等の内容をお知らせします。

○留学生受入促進事業

・進学説明会

事項\地区	広島	福山
月 日	8月31日(土)	9月11日(水)
会 場	広島市留学生会館	広島県民文化センターふくやま
参加大学数	11大学, 2短大	10大学, 1短大
来場者数	30人	108人



県内の日本語学校等で学んでいる外国人留学生のために、当支援センターへ加盟している大学・短期大学が、広島地区と福山地区で合同説明会を行っており、今年も多く大学の参加しました。

また、大学の多くが、現役の留学生を同伴したので、参加した留学生は、学部についての詳しい内容や大学生活への質問を母国語で活発に行うなど、積極的な進学の姿勢がうかがえました。

・海外共同PR

事項\都市	ホーチミン市	ハノイ市
月 日	9月19日(木)～21日(土)	9月22日(日)～23日(月)
会 場	ホーチミン市人文社会科学大学	ベトナム日本人材協力センター
来場者数	320人	90人
個別訪問学校数	2大学, 2日本語学校	2大学, 1高校, 1日本語学校



平成24年度に引続き、ベトナム国のホーチミン市とハノイ市において、県内の10団体(8大学, 2日本語学校)と共に、ベトナムから留学中の現役学生を同伴して、広島への留学をPRする「広島県留学フェア」を開催しました。留学フェアには、2会場で合計400人を超す来訪者があり、会場内は、学生たちの熱気であふれました。

また、現地で日本語を教育している8機関を個別訪問し、広島県内の大学や留学環境等についての紹介を行うとともに、担当者と直接意見交換を行うことで、有意義な交流が図れました。

○留学情報等提供事業

・留学生ウェブサイト

当支援センターを紹介するホームページをリニューアルし、日本語、英語のほかに中国語、ベトナム語、韓国語のページも日本語のページと同様に内容充実させ、多言語化しています。

また、県内大学の現役留学生で構成する「ひろしま魅力発信チーム」が作成した「広島留学をPRするウェブサイトページ」を上記5か国語で新たに加えていますので、是非、ご覧下さい。 ウェブサイトはこちらから →



・留学生交流

事項\行事	総会	交流会	スポーツ大会	母国料理紹介&写真展
月 日	6月1日(土)			9月15日(日)
会 場	広島大学東広島キャンパス			広島市留学生会館
参加者数	190人	333人	314人	60人



県内の大学や短期大学、高等専門学校などに在籍する留学生相互の交流をはじめ、日本人学生や地域住民との交流などを目的に広島地域留学生会が実施している「総会・交流会・スポーツ大会」は、今回の会場が広島大学ということもあり、参加者が例年を100人も上回るなど大変盛況なものとなりました。また、同会会員の希望により地域住民との交流を促進することを目的として広島市留学生会館で開催した「母国料理紹介&写真展」についても、留学生はもちろんのこと、多くの日本人学生や広島市民の皆さんの参加を得て、楽しい料理づくりから食事会など、終始和やかなムードの中で、参加者相互の交流が図られました。

♪情報センター・図書室のご紹介♪

県民の皆様へのサービス（貸出）

情報センター・図書室の資料・サービスは“どなたでも”ご利用いただけます！ 貸出資料は図書だけではなく、音楽CD、雑誌（バックナンバー）やDVD（一部）もあります。登録は簡単！ 免許証、保険証、学生証などの身分証明書をお持ちいただければ即日貸出が可能です。

Wi-Fi専用席

ノートパソコンやタブレットを持ち込んでインターネット通信をしながら自習ができます。Wi-Fi専用席では電源もご利用いただけます。



まんが / 絵本のコーナー

大人気の『進撃の巨人』（日本語版・英語版）、『NARUTO』『のだめカンタービレ』や『ONE PIECE』の英語版、懐かしい『サザエさん』や『ドラえもん』の日・英バイリンガル版をはじめ、様々なジャンルのまんがを取り揃えております。英語学習にも最適です！ また、絵本の選定に力を入れ、今後も国内外からのめずらしい絵本の収集に力をいれていきます。

★寄贈のお願い ～ご家庭で眠っている本にもう一度活躍の場を～
予算が限られているため人気のある本などは十分な冊数を揃えられない状況です。県民の皆様にご活用いただける資料をより一層充実させるため、寄贈へのご協力をお願いいたします。

子どもから大人まで楽しめます！ ～おりがみ展示/ミニレッスン～

海外でも人気のおりがみ。情報センター・図書室では日本文化の紹介の一つとして、おりがみの展示だけではなく常時ミニレッスンも行っております。一緒におりがみ作品をつくってみませんか？

NGO交流室

グループ活動や地域交流の場として利用できるNGO交流室（無料）があります。サークル活動や勉強会など、地域交流の場の一つとしてお役立てください。



♪ワールドクッキング教室受講者募集♪

その名のとおり毎年10か国の世界の料理を学ぶワールドクッキング教室。今日はその魅力ベスト3を皆さんに発表します!!

- ❶ 珍しい国の料理を、その国の講師から直接学べる。〈講師はプロではないけれど家庭の味を学べます。昨年度：ルワンダ、アフガニスタン、ラオスなど〉
- ❷ 料理以外にもその国について学べる。〈毎回お国の紹介があり、色々な質問で盛り上がります〉
- ❸ 日本人はもちろん外国人の友人ができちゃうかも!? 〈受講者同士で友達になったり、講師と仲良くなってその国に遊びに行った人も〉

その他にも、おいしい料理が食べられる、料理のレポーターが増えて家族にほめられるなど、魅力いっぱいの教室です。今までに学んだお国はなんと41か国！ 少しでも「いいなあ」と思ったあなた！ 今すぐ下記までお問い合わせください。お待ちしております。



ハンガリー料理（H25.11月）

★お申込み・問合せ先

公益財団法人ひろしま国際センター研修部
〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
(電話082-421-5900 FAX082-421-5751)

- ・事務室開室時間 月～金 9:00～17:45
- ・情報センター・図書室開室時間（4月より開室時間が変わりました）
月～土10:30～12:30、13:30～19:00（12:30～13:30は一時閉室）
※毎週日曜日と年末年始、臨時休室はお休みします。
- ・NGO交流室 開室時間：月～土 10:30～19:00

URL：http://hiroshima-ic.or.jp/hip/

E-mail：hicc@hiroshima-ic.or.jp（事務室） hiccinfo@hiroshima-ic.or.jp（図書室）



広島から世界へ！ 3月下旬より、広島県出身の青年海外協力隊員／シニア海外ボランティア6人が、バングラデシュ・タイ・ブータンなど6カ国へ向けて出発します！



《青年海外協力隊》（※左から氏名・派遣国・職種）

大塚 美弥	バングラデシュ	コミュニティ開発
大野 千里	タイ	日本語教育
河村 亮	モンゴル	バレーボール
小山 希	ルワンダ	公衆衛生
豊嶋 慶悟	ガーナ	自動車整備

《シニア海外ボランティア》

菅 康文	ブータン	体育
------	------	----

現在赴任中の広島県出身 JICA ボランティア(人)

区 分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	17	22	39
シニア海外ボランティア	13	2	15
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	1	1

平成 26 年 2 月 28 日時点

広島県JICAデスク交代のお知らせ

JICA国際協力推進員（広島県担当） 大塚善久
（平成18年度3次隊 マラウイ派遣 村落開発普及員）

早いもので広島県JICAデスクとして仕事を初めて丸3年。2月末日をもって、とうとう任期を終えることとなりました。任期中、本当にたくさんの方々と素敵な出会いがあり、本当に充実した日々を過ごすことが出来ました。ボランティア事業、出前講座ではたくさんの地域や学校を訪問でき、多くの自治体・教員の方々にお世話になりました。特に3年に亘って担当した「カンボジア・スタディツアー」では、合計53人の高校生～社会人の方々と関わることができ、毎回涙が出るほどの感動を味わうことが出来ました。

「行動なくして経験なし、情熱なくして感動なし」この言葉を大切に、3年間広島県のJICAデスクとしてこの仕事に携われたこと、心から感謝しています。この場をお借りして「3年間本当にお世話になりました」。そして、たくさんの感動を本当にありがとうございました。これからも全力で頑張ります！
それでは続いて、私の後任・上田愛さんにバトンを渡したいと思います。

みなさん、こんにちは！ 5代目広島県JICA国際協力推進員の上田愛です。広島県出身ですが、幼少期は全国を転々とし、学生時代は京都、初めての就職は三重県でした。2010年～2012年まで、青年海外協力隊員として、西アフリカのブルキナファソ、東アフリカのケニアで、村落開発普及員として活動していました（派遣中にブルキナファソで政変があり、国外退避をし、ケニアへ振替派遣となりました）。ブルキナファソでは、障害者の自立支援としてアフリカの布を使った小物づくり等を行い、ケニアでは地域の産業活性化を目標に、一村一品運動の普及活動を現地の人と一緒にしていました。

これからは広島県のみなさんとともに、もっと世界を知り、もっと世界とつながっていけるようなきっかけ作りをしていきたいと思っています。HICでみなさんにお会いできるのを楽しみにしています！



3年前

現在



上田愛は全力でカープを応援しています！

【JICA ボランティア体験談 & 説明会のお知らせ】

平成26年度春募集「体験談 & 説明会」を、広島県では3ヶ所の会場で合計5回開催します。広島市内では、「広島市まちづくり市民交流プラザ」にて3回、広島市以外では東広島市の「広島大学学生会館（青年海外協力隊のみ開催）」で1回、福山市の「まなびの館ローズコム」で1回の開催となります。青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの制度説明に加え、経験者の体験談も実施しますので、たくさんのご来場をお待ちしています。詳しくは、JICA中国のウェブサイトからご確認ください。

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/volunteer/index.html#a03>

公益財団法人上田流和風堂

■上田宗箇の伝統を継ぐ茶道上田宗箇流及び武家文化の保存育成に関する事業を行い、その精神を広く一般に普及し、地域文化の向上に寄与することを目的としています。

■当財団は次の事業を行っています。

- ①茶道の修練及び普及と武家文化の継承
- ②茶室建築美術工芸、造園等の研究調査及び指導育成
- ③茶道及び武家文化に関する茶会、展示会及び講演会の開催
- ④その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■主な行事

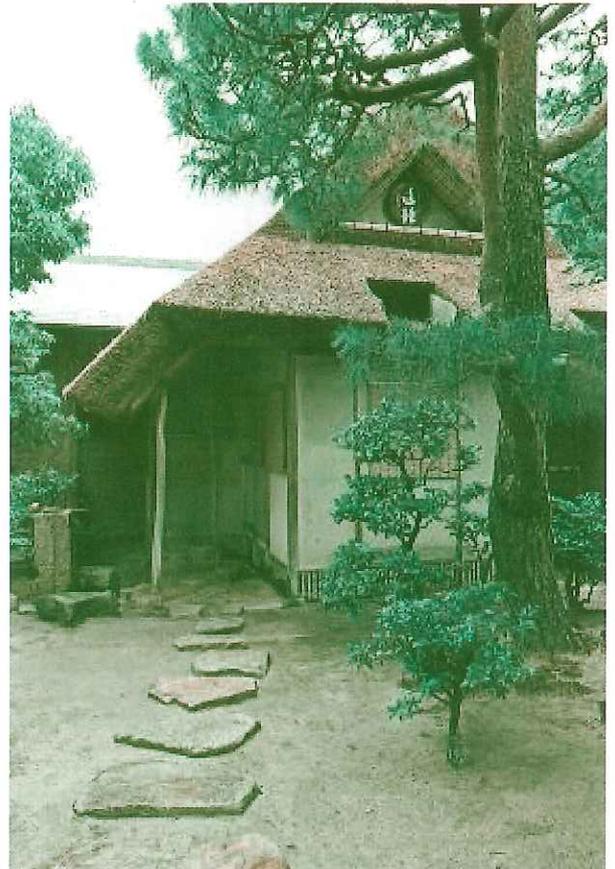
- ・和風堂初釜
- ・縮景園大福茶会
- ・東京広島県人会総会添釜
- ・国泰寺豊公祭献茶
- ・護国神社春季例大祭献茶
- ・和風堂宗箇祭
- ・大徳寺三玄院宗箇忌
- ・縮景園原爆犠牲者慰霊供養式並びに平和を願う集い献茶
- ・広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式典
- ・各国大使来堂及び添釜
- ・護国神社秋季例大祭献茶
- ・国泰寺義士祭献茶

■国内での活動

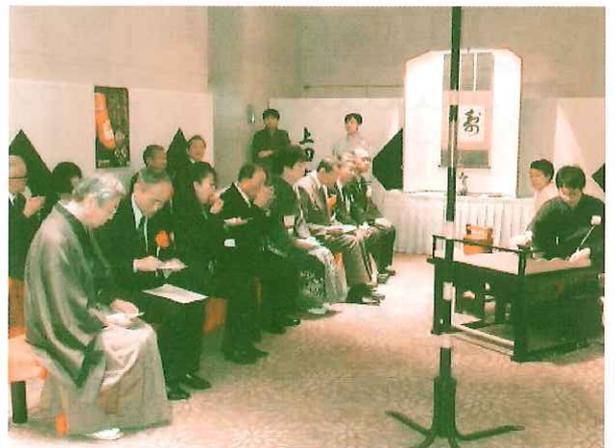
- ・広島
- ・中国地方（山口，岡山，島根）
- ・関西地方（京都，大阪，奈良，和歌山）
- ・関東地方（東京，神奈川）

■海外での活動

- ・ドイツ ハノーバー、ベルリン他
- ・オーストラリア メルボルン
- ・アメリカ メンフィス



茶室「遠鐘」



東京広島県人会総会添釜



ハノーバー・エギー教会での献茶

お問い合わせ 公益財団法人上田流和風堂 藤原
TEL 082-271-5307 E-mail ueda-soko@go7.enjoy.ne.jp

Upcoming Events News No.128

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせ下さい。

平成26(2014)年4月分

日	内 容
20 (日)	<p>広島県国際交流協会 4月講演会</p> <p>A short discussion: UNESCO's Intangible Cultural Heritage "Washoku"</p> <p>A presentation entitled "My Shikoku Pilgrimage experience and how it changed my life" will be given by Ms. Amy Chavez on April 20th, the third Sunday, at 1:00 PM in the Lounge. Before the speech, we will have a Karaoke lesson featuring the song "Smile." Following the song, the above-mentioned concern will be discussed briefly.</p> <p>時 間 13:00 ~</p> <p>場 所 ラウンジ 尾道市久保 3-14-18</p> <p>問合せ先 広島県国際交流協会 松浦 Tel: 0848-37-3518 e-mail: matsuuras2000@ybb.ne.jp URL: http://www.geocities.jp/matsuuras2000/</p>



瀬戸内
しまのわ
2014

はじまる新しいしま博
「島へようこそ！」

瀬戸内しまのわ 2014のご案内

散歩散走in尾道

～サイクリング&ウォーキングパラダイス おもいおもいの島めぐり～

散歩（ウォーキング）、散走（サイクリング）を推進する尾道市の沿岸部を、春から夏休みまでの絶好の期間にサイクリング & ウォーキングパラダイスゾーンと位置づけ、ロングライド向けサイクリングイベントや子ども向けランニングバイク大会、ウォーキングイベントなどを開催。「散歩散策パスポート」で参加できるスタンプラリーも実施します。

開催日：平成 26 年 4 月 19 日（土）～8 月 31 日（日）

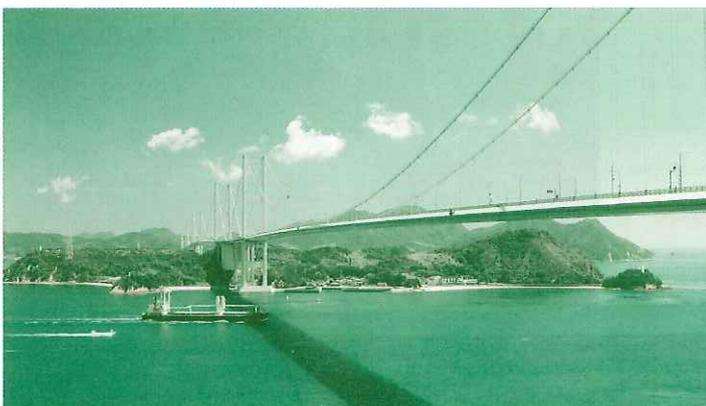
会 場：尾道市広域・今治市

料 金：無料

「瀬戸内しまのわ 2014」とは？

広島県と愛媛県の島しょ部および臨海部で開催される「瀬戸内しまのわ 2014」。季節ごとに島々の魅力を PR する上記でご紹介したメインイベントのほか、地域の魅力を活かした他 200 以上のイベントを春～秋にかけて実施します。

開催期間は、平成 26 年 3 月 21 日（金・祝）～10 月 26 日（日）



問い合わせ：瀬戸内しま博覧会「瀬戸内しまのわ 2014」実行委員会 TEL:082-513-36450

In Search of Snow

And Finding a Fun Cultural Exchange By Trevor Swan
(筆者はP5「雪生活体験」に参加)

On a foggy Sunday morning in February, I found myself standing in front of the Crystal Plaza with other HIC staff, volunteers and hopeful participants. We were all boarding a bus in search of something ever elusive in Hiroshima, a “snow experience”.



For most of our nearly two hour journey to the northern mountains, there was no snow to be seen. However, just as we started to think we wouldn't see any snow this year, our search was rewarded. We had arrived at a small, snowy village called Mizokuchi in Kitahiroshima. And so the Hiroshima International Center's 12th annual “Life in the Snow” event began.

Immediately after our arrival, we were welcomed by what seemed to be the whole village. As we exited the bus, a local representative came forward and began an official greeting. Shortly after he began, four small children dashed off the bus straight into a snowbank. After witnessing them play excitedly in snow for the first time, I knew it was going to be a great event!

I also made some new friends and helped them make a “real” snow man.¹ It took a lot of work, but was worth the effort. The result was a decent sized, if a bit unusual, snow man. We celebrated with pictures, by making snow angels, and by sledding until it was time for everyone to gather indoors for lunch.

After entering a large hall, on the second floor of the Miwa-higashi Cultural Center, we were treated to a feast. After hearing explanations of the foods, we toasted and ate delicious American salads and Vietnamese spring rolls, among numerous other local and international dishes! But the fun didn't stop there. The rest of our stay involved cultural presentations, singing songs from our countries and watching some taiko and kagura performances by hosted by the Cultural Center.

Being part of the “Life in the Snow” event for the first time was a great pleasure. Although I was there primarily to help make sure the event ran smoothly, I had a lot of fun talking to participants and making some great new friends.



¹ By “real” I mean a decently big snow creature with a name. My friends named him “Puppy” because they thought he was cute.

Hiroshima Calendar

Date	Event	Location
<u>April</u> 26 ~ 27	Onomichi Port Festival	Onomichi City
29	Kure Port Festival – Songs and a parade!	Kure City
<u>May</u> 3 ~ 5	Hiroshima Flower Festival – The biggest annual festival in Hiroshima City	All along the Peace Boulevard
3 ~ 18	Tomonoura sea bream fishing	Sensui-jima, Fukuyama City
17 ~ 18	Fukuyama Rose Festival – The whole town is filled with stalls and a flowery, laid back atmosphere.	Fukuyama City
<u>June</u> 6 ~ 8	Toukasan Yukata Festival – Go around town looking spiffy in your yukata!	Toukasan Temple – Hiroshima City
<u>Mar ~ Oct</u>	Setouchi-Shimanowa 2014 -Events will be held at various locations within the Seto Inland Sea area.	Islands and waterfront areas of Hiroshima and Ehime Prefecture

Editor's notes:

All over Hiroshima Prefecture this spring there will be a number of colorful events going on. Starting with the various events along the waterfront islands and areas connected to the Seto Inland Sea, including the biggest festival in the city, the Flower Festival. Whether it's singing songs, going fishing, wearing yukata's or just sitting back and smelling the flowers, there's a festival for everyone this spring!

As usual, if you would like more information, questions or have any comments send an email to:

Hic05@hiroshima-ic.or.jp

交流部からの お知らせ

今年度も奨学金制度へのご理解とご支援を よろしく申し上げます

企業・団体の皆さまへ

企業等協力留学生奨学金制度

企業・団体の皆さまからのご寄附（1口年間37万円）を原資として奨学金の支給を行うほか、奨学生の企業・団体との多様な交流の場づくりを推進しています

県民の皆さまへ

県民支援留学生奨学金制度

県民の皆さまからのご寄附（1口年間5,000円）を原資として奨学金の支給を行っています

※当センターへの寄附については税制上の特例措置を受けることができます。



〒730-0037
広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ6階
Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL : (082)541-3777 FAX : (082)243-2001
URL (Japanese) <http://hiroshima-ic.or.jp/>
(English) <http://hiroshima-ic.or.jp/hice>
E-mail: hic@hiroshima-ic.or.jp

